

むすぶ建築

様々な人の想いやこころをむすび、人や地域との交流を活性化させるために、建築として何ができるでしょうか。

14回目となる本コンテストでは「むすぶ建築」をテーマに高校生の皆さんからの建築的なアイデアを募集します！

提案募集

応募期間

10月1日(木)~28日(水)

※消印有効

■結果発表 11月27日(金)

■賞

最優秀賞(1点)

賞状、副賞/図書カード3万円分、表彰記念品

優秀賞(2点)

賞状、副賞/図書カード2万円分、表彰記念品

佳作(5点程度)

賞状、副賞/図書カード5千円分、表彰記念品

※グループ応募の場合、賞状、副賞は1点のみとし、表彰記念品は人数分授与します。

Akita Prefectural University
秋田県立大学

問い合わせ先・送付先 秋田県立大学 本荘キャンパス事務局 総務・企画チーム

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 TEL 0184-27-2021・FAX 0184-27-2194

E-mail office_honjo@akita-pu.ac.jp <https://www.akita-pu.ac.jp>

主催 公立大学法人 秋田県立大学

後援 秋田県・秋田県教育委員会・(一社)日本建築学会東北支部・(公社)日本建築家協会東北支部・(一社)秋田県建築士事務所協会



むすぶ建築

全国高校生建築提案コンテスト 2020



【趣旨】

秋田県立大学では高校生の皆さんに、未来の生活における建築の姿を考える機会を持っていただこうと、2007年から「高校生建築提案コンテスト」を開催しています。14回目となる今回は「むすぶ建築」をテーマに、建築的なアイデアを募集します。

近年、インターネットの普及やIT技術の急速な進歩による情報化社会に伴い、日々の生活が便利になる一方で、生活スタイルの変化とともに、少子高齢化や地域住民による交流の希薄化により、地域コミュニティの機能が衰退している傾向にあります。以前は公園や広場などが子供たちの「遊び」や「学び」の場でもあり、大人から子供たちにとって「憩い」や「交流」の場でもあったにも関わらず、現在では閑散とした場所も多く見られます。

時代とともに、人と人との関係性や意識の変化が人々の価値観をより多様にさせている現在、様々な人の想いやこころをむすび、人や地域との交流を活性化させるには、建築として何ができるのでしょうか？

建築には、活動の場、情報交換の場、シンボルを司る空間の創出などを実現させる上で非常に大きな役割が期待されます。皆さんが普段から何気なく利用している建築や街並みを見つめ直し、その設計意図や利用実態、問題点を整理・分析した上で、「むすぶ」という言葉をキーワードに次世代につながる建築とは何かを柔軟に考えてみてください。建物を使う人々の利便性を意識し、それらを両立させた意欲的で自由な提案を期待します。

対象

高校生（高等専門学校の場合は在籍3年以下の学生）

応募規定

コンテストテーマ・主旨を踏まえて、作品タイトルを決定し、自由フォーマットか論文フォーマットのどちらかの形式を選んで、作品をまとめてください。

A) 自由フォーマットの場合（設計作品、調査や提案のポスター表現、など）

- ① 図面、写真、文章等を自由にレイアウトして作品をまとめてください。ただし、作品タイトルは作品中に必ず記載してください。
- ② 図面や写真の点数、説明文章の文字数の制限などはありませんので、自由に作成してください。ただし、見易さも評価されますので、あまり小さい文字などを用いないように注意してください。
- ③ 模型や映像などは受け付けません。写真として用紙中に表現してください。

〈用紙の大きさについて〉

A1用紙1枚以内（A3用紙を4枚合せた大きさ）であれば紙の大きさは自由です。下の例のように複数枚に分けても結構です。

例) A2用紙2枚、A3用紙4枚、A4用紙8枚

※ 用紙の枚数は規程の総量を超えなければ自由です。

※ A2以下のサイズで複数ページで構成する場合、作品タイトルを全ページの裏側にも記入し、ページ番号をつけてください。

B) 論文フォーマットの場合（調査研究の論文などのフォーマット）

下記の規定にて作品を作成してください。なお、A4用紙8枚以内とします。

- ① 1枚の用紙の文字数は、図、表を含め1,200字以内としてください。
- ② 最初の行に作品タイトルを記載し、1行空けてから本文を書き始めてください。
- ③ 文章には適宜、章、節を設けて構成してください。
- ④ 図、表には番号を付けて、文章中に表し、適宜レイアウトしてください。
- ⑤ 参考文献は、最後にまとめて記載してください。
- ⑥ 各ページにページ番号をつけ、ホッチキスでとめてください。

注意点

- ① A)、B)は部門ではありません。すべての表現方法による応募作品を同等に審査します。表現方法の違いは審査に影響しません。
- ② 作品には必ずオリジナルのタイトルをつけてください。
- ③ 提出作品には、応募者の所属学校名や氏名等のわかる内容を一切記入しないでください。
- ④ 論文や図面の表現方法は自由です。（手書き、ワープロ仕上げ、デジタル処理等、何でも結構です。着色も自由です。）
- ⑤ 一度提出のあった書類、提出物は一切返却できません。必要であれば事前にコピーをとるなどしてから提出してください。
- ⑥ この応募要項にない事項は、すべて応募者の判断によるものとし、質疑応答は行いません。

提案例

（参考：提案例に沿った内容を高く評価するわけではありません。）

- ① 人と人とをむすぶ建築の提案
- ② 時代（過去や現在、未来など）をむすぶ建築の提案
- ③ 建築と建築をむすぶことにより新たな価値が形成される建築の提案

応募方法

「申込書」をホームページ（<https://akita-pu.ac.jp>よりリンクをクリック）からダウンロードして必要事項を記載し、応募作品といっしょに下記の送付先へ提出してください。応募方法は2種類あります。

【高等学校応募】

高校を通して応募する場合は「高等学校応募申込書」をご使用ください。作品1つにつき応募申込書は1枚必要となります。グループなど複数名で1点の応募もできます。

【個人応募】

高校を通さず個人で応募する場合「個人応募申込書」をご使用ください。

応募締切

10月28日(水) ※消印有効（応募受付は10月1日(木)より）

賞

最優秀賞（1点）：賞状、副賞／図書カード3万円分、表彰記念品
 優秀賞（2点）：賞状、副賞／図書カード2万円分、表彰記念品
 佳作（5点程度）：賞状、副賞／図書カード5千円分、表彰記念品
 ※グループ応募の場合、賞状、副賞は1点のみとし、表彰記念品は人数分授与します。

審査基準

現代の人々の要望、あるいは社会の問題点などを踏まえつつも、従来の概念や常識にとらわれない、自由な発想の建築的アイデアを重視します。実現の可能性は低くても、身近な問題意識を踏まえた若者らしい発想にもとづいた提案が望ましいです。表現方法についても、提案に適した表現方法がとられていることが望ましいものとします。審査はテーマを出題した教員らを中心に、建築環境システム学科教員により選考委員会を組織して行います。

結果発表

11月27日(金)

入賞作品を大学ホームページ（<https://akita-pu.ac.jp>）で発表します。発表では、入賞作品タイトルとその応募者の学校名、学年、氏名を掲載します。また、全ての応募作品に対し、総評、個別作品評、参加記念品をお送りします。入賞作品や応募作品を掲載した図録等の作成は予定しておりません。応募作品は返却いたしませんのでご注意ください。

※応募者の個人情報については、本コンテストの実施・運営のために利用するほか、秋田県立大学に関係する各種情報提供の目的にのみ使用します。受賞者の学校名、学年、氏名、作品のデータについては、大学ホームページや、報道機関に情報提供される場合があります。また、応募作品は本学のオープンキャンパスや大学祭等での展示や、大学の広報関連の冊子などで利用場合があります。あらかじめご了承ください。

問い合わせ先・送付先

秋田県立大学 本荘キャンパス事務局 総務・企画チーム

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL 0184-27-2021 FAX 0184-27-2194

E-mail office_honjo@akita-pu.ac.jp

<https://akita-pu.ac.jp>